

平成20年度当初予算 重点的な取組別概要
< 重点事業 >

絆1：「住んでよし、訪れてよし」の観光みえ・魅力増進対策（主担当部：農水商工部観光局）

< 重点事業の目標 >

多様な主体による地域づくりの取組を、地域住民や訪れる人双方の視点に立った総合的な取組にレベルアップさせ、「住んでよし、訪れてよし」の地域づくり、観光振興と地域づくりの取組の一体化を進めるため、商品造成・情報発信・誘客戦略の充実、地域づくりに対するノウハウ提供、連携支援の強化等、ソフト・ハード一体となった取組を効果的に展開していきます。

< 構成事業（担当部） >

- （1）「旅ごころ誘う三重奏」誘客戦略推進事業（農水商工部観光局）
- （2）外客誘致推進事業（農水商工部観光局）
- （3）教育旅行誘致事業（農水商工部観光局）
- （4）自動車観光情報発信事業（農水商工部観光局）
- （5）三重の観光プロデューサー設置事業（農水商工部観光局）
- （6）魅力ある観光地グレードアップ支援事業（農水商工部観光局）
- （7）フィルムコミッション促進事業（農水商工部観光局）
- （8）景観まちづくりプロジェクト事業（県土整備部）
- （9）熊野古道シャトルバスの活用による熊野古道の魅力増進事業（農水商工部観光局）

< 重点事業の事業費 >

（単位：千円）

H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
(322,402)	(352,000)		
321,454	339,530	360,000	350,000

H19 年度は現計予算額、H20 年度は当初予算要求額

H19 および H20 年度の上段括弧書き、H21 年度、H22 年度は第二次戦略計画の記載額

< 重点事業の数値目標 >

目標項目		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
観光地づくり連携プロジェクト数（累計）	目標値	-	100 件	121 件	142 件	163 件
	実績値	79 件				

魅力ある観光地づくりに向けて、地域が主体となって取り組むソフト・ハードのさまざまな取組へ支援を行ったプロジェクトの数

< 構成事業の目標 >

目標項目		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
(1) 提案旅行商品を企画・販売した旅行会社数	目標値	-	10 社	10 社	10 社	10 社
	実績値	9 社				
(2) 三重県への外客訪問数	目標値	-	73,000 人 (H18)	80,000 人 (H19)	86,000 人 (H20)	93,000 人 (H21)
	実績値	67,000 人 (H17)				

(3)教育旅行誘致決定校数(累計)	目標値	-	5校	10校	15校	20校
	実績値	2校				
(4)モバイルツール等を活用した観光ルート提案数(累計)	目標値	-	1件	1件	2件	2件
	実績値	-				
(5)観光プロデュース数(累計)	目標値	-	71件	86件	101件	116件
	実績値	56件				
(6)魅力ある観光地づくり支援件数(累計)	目標値	-	45件	56件	67件	78件
	実績値	34件				
(7)県内のフィルムコミッション数(累計)	目標値	-	2か所	3か所	5か所	5か所
	実績値	1か所				
(8)景観まちづくりの取組における景観に配慮した社会資本整備の実施箇所数(累計)	目標値	-	16か所	17か所	18か所	19か所
	実績値	15か所				
(9)熊野古道シャトルバスを活用した旅行商品、イベント等の数(累計)	目標値	-	5件	8件	11件	14件
	実績値	-				

<進捗状況(現状と課題)>

- ・三重県観光販売システムズ等のノウハウを生かしたエリア別の情報発信・誘客、修学旅行などの教育旅行の誘致促進、自動車観光に適したモデルルートの提案・マップ作成等の取組を展開しています。
- ・観光の魅力づくりに向け、地域で観光振興に取り組む地域おこしの団体や、観光振興計画の策定作業を進める市町の取組等に対し、観光プロデューサーによるノウハウ提供等の支援を行っています。
- ・街道を軸とした地域において県道の修景整備を実施するなど、地域住民や市町が主体となって進める歴史・文化や地域資源を生かした景観まちづくりの支援を行っています。
- ・今後は、「観光入込客の約半数が県民」、「アクセス手段の8割を占める自家用車」、「大満足と答える人の9割が再来訪を希望」といった観光客実態調査等に基づく新たな切り口をふまえ、観光振興プランの戦略をさらに効果的に推進していく必要があります。

<平成20年度の取組方向>

首都圏・関西圏・中部圏・海外等エリア別の情報発信・誘客戦略をさらに効果的に推進するとともに、特に観光入込客の約半数を占める県民の方々が、地域の魅力を再発見、再認識し、三重ファンとして情報発信していただき、語り部となっていただけるよう取り組みます。また、引き続き、首都圏等からの修学旅行、近隣県、県内の学校からの社会見学といった教育旅行の誘致促進、自動車を利用する観光客の利便性向上に向けた、カーナビゲーションシステム等に対応した観光情報の発信や自動車観光に適した観光ルートの提案、普及等に取り組んでいきます。

観光プロデューサーのノウハウを生かした、「もてなしの心」を形にする地域の観光商品づくりの取組等への支援、商品化のプロセスを通じた人材育成や地域おこし団体の育成・支援、歴史・文化の豊かな街道を軸とした地域における、県道等の修景整備など、地域資源を生かした景観まちづくり等に取り組み、「^{うまし}美し国 三重」をアピールしていきます。

< 主な予算要求事業 >

「旅ごころ誘う三重奏」誘客戦略推進事業【20年度予算額 149,112 千円】(事業(1))

式年遷宮や熊野古道等の資源を最大限に生かし、首都圏、関西圏、中部圏、県内等エリア別の情報発信・誘客戦略を展開します。

外客誘致推進事業【20年度予算額 27,103 千円】(事業(2))

誘客が期待できる東アジア地域を主なターゲットとして、三重県の魅力を発信するとともに、具体的な旅行商品の造成や誘客を働きかけます。

教育旅行誘致事業【20年度予算額 2,129 千円】(事業(3))

中長期的な視点に立った三重ファン・リピーターの確保に向け、首都圏、関西圏からの修学旅行の誘致、近隣県・県内の学校からの社会見学等の誘致を進めます。

自動車観光情報発信事業【20年度予算額 4,781 千円】(事業(4))

三重県へのアクセスの大勢を占める自動車を利用した観光客の利便性向上をはかるため、カーナビゲーションシステムや携帯電話等のモバイルツールに対応した情報発信の充実、自動車観光に適した観光ルートの提案等を行います。

三重の観光プロデューサー設置事業【20年度予算額 10,992 千円】(事業(5))

観光プロデューサーを配置し、そのノウハウを最大限に生かして、地域の観光商品づくりの取組を支援するとともに、商品化のプロセスを通じた人材育成やノウハウの蓄積、交流を進めます。

景観まちづくりプロジェクト事業【20年度予算額 110,000 千円】(事業(8))

個性豊かで魅力ある景観まちづくりを推進するため、三重県内の歴史・文化の豊かな街道を軸とした地域において、地域住民と行政の協働により、それぞれの地域資源を利活用した景観やまち並みを創造するとともに、まちの骨格を構成する道路や河川などの県有施設において修景整備等のハード整備を実施します。

